

分野	授業科目	単位（時間）	進度	担当
専門分野	基礎看護技術Ⅲ	2（60）	1年通年	早瀬聡子・長尾しのぶ 木村純子・前田美紀 内田貴子 実務経験あり
科目目的	対象の日常生活を整える援助技術の根拠と方法を学び、学内演習で実践能力と態度を養う。			
科目目標	1. 看護実践に不可欠な基本技術を学び、臨床看護に活かす。			
单元名	教育内容	時間	教育方法	担当
1. 環境調整技術	1) 病床環境の調整 （1）療養生活の環境 （2）病室の環境のアセスメントと調整 2) 援助の実際 （1）ベッド周囲の環境整備 （2）病床を整える （3）臥床患者のシーツ交換	12	講義 演習	長尾
2. 食事援助技術	1) 栄養状態及び摂食能力、食欲や食に対する認識のアセスメント 栄養状態、水分・電解質バランス、食欲、摂食・嚥下能力、摂食行動、患者の認識・行動 2) 医療施設で提供される食事 3) 食事介助の基礎知識 4) 摂食・嚥下訓練の援助の基礎知識 5) 非経口的栄養摂取の援助 （1）経管栄養法援助の基礎知識 （2）中心静脈栄養法 臥床患者の食事介助	4 4	講義 演習	内田
3. 清潔・衣生活援助技術	1) 衣生活の援助の基礎知識 （1）意義、アセスメント 2) 衣生活の援助 3) 病衣の交換 （1）和式病衣、パジャマ 臥床患者の寝衣交換 4) 清潔の基礎知識 （1）清潔援助の効果 （2）患者の状態に応じた援助の決定と留意点 ①方法選択 ②留意点 ③清潔のアセスメント 5) 清潔の援助（頭髮・頭皮、皮膚、整容、口腔 目、耳、鼻、陰部） 全身清拭 足浴・手浴 洗髪、結髪、整容	2 4 6 12	講義 演習 講義 演習	前田 早瀬

4. 排泄援助技術	1) 自然排尿・自然排便の基礎知識 排泄の意義 メカニズム 行動の正常・異常 排尿・排便のアセスメント	6	講義	木村
	2) 導尿 (1) 一時的導尿			
	3) 排便を促す援助 (1) 自然排泄への援助の方法 (2) オムツ交換・ポータブルトイレの排泄援助 (3) 浣腸・摘便			
5. まとめと試験	便器・尿器を用いた排泄援助の実際 浣腸 ストーマ管理 摘便	8	演習	木村
		2		早瀬
テキスト／その他の教材	系統看護学講座 「基礎看護技術Ⅰ」 「基礎看護技術Ⅱ」 (医学書院) 「写真でわかる実習で使える看護技術」 (インターメディカ)			
評価方法	筆記試験 (早瀬30点、長尾20点、木村20点、前田10点、内田20点) とレポートなどから総合的に評価する			